

a004050

永田区 田之峰神社

概要 適用



a004050001)



a004050002



a004050003



a004050004



a004050005



a004050006



a004050007

- ・子宝の神様。
- 田之峰神社
- 主祭神:豊受大御神 併祀:森山大明神
- ・ 本来は食物・穀物を司る神様「豊受大御神」だが、田之峰神社は昔から「お産の神様」として住民に知られている。
- ・ 併祀である「森山大明神」が子授の神様なので、ここに由来しているのかもしれない。この神社が建立したのは明治20年前と考えられる(「田之神社縁起考」)。隣の吉田地区にある「森山神社」と祭りの日が同じ。
- ・ 神社が立つ場所は、民家が集まる所からは少し遠く、高台にあり、少し奥まった所にある。畑の真ん中にあり、住民以外は素通りしてしまうような場所。建物はコンクリート。
- ・ 境内にはセンダンの立派な木が数本残っている。
- ・ 向江地区にあり、祭事は上向江、中向江、下向江が当番制で執り行っている。毎年、当番が代わるので準備される食事が違い、半分争うように食事を作っている。
- ・ 現在、永田地区には五つの神社があるが、最も賑やかな祭りが催されている。大祭の日は舞台が設置され、神事の後に子どもからお年寄りまで歌って踊ってお祭り。住民もこの神社のお祭りに合わせて、歌や踊りを練習するとのことで、永田地区でも住民にとってなじみのある神社という印象。
- ・ 近くに田之峰遺跡がある。縄文後期式土器が主体。

参考資料:「田之神社縁起考」(社内にある)

参考資料:「屋久島、もっと知りたい 人と暮らし編」下野敏見著

写真コメント



a004050008



a004050009



a004050010



a004050011



a004050012



a004050013



a004050014



a004050015



a004050016



a004050017



a004050018

a004050001.JPG

a004050002.JPG

a004050003.JPG

a004050004.JPG

a004050005.JPG

a004050006.JPG

a004050007.JPG

a004050008.JPG

a004050009.JPG

a004050010.JPG

a004050011.JPG

a004050012.JPG

a004050013.JPG

a004050014.JPG

a004050015.JPG

a004050016.JPG

a004050017.JPG

a004050018.JPG